

《沢田地区自治協議会からのお知らせ》

理事会では次年度に向けて、事業計画、予算等について準備を進めています。1月25日(水)第4回理事会においては、総代の選出方法等について協議し次のように決りましたのでお知らせします。

- 総代…沢井三里区と赤羽区は3人、その他の区は2人とする。
なお、選出方法は各区に一任する。
- 現在いくつかの団体が区民の方々に負担をお願いしている運営資金について平成29年度は従来どおり各団体が集金する。
但し、いずれは自治協議会で一括して預かり、各団体に交付する方向で進めることを、各区の総会で協議していただく。
将来は自治協議会として事業計画、予算を立てるようにしていきたい。
- 平成29年度の沢田地区自治協議会総会を4月30日(日)午後7時から開催する。

《白鳥の会からのお願い》

参加者、ボランティアを募集

白鳥の会は「介護予防生活支援事業を通して地域社会との交流を促進し、要介護状態になることを予防する」ことを目的に、平成12年にスタートしました。

現在では、ミニディサービスふれあい広場「白鳥の会」として、すっかり定着し参加される方々そしてボランティアの方々の交流の場となっています。

新年度を迎えるにあたり、参加者とボランティアの方々を募集いたします。多くの方の応募をお待ちしております。連絡は自治センターまでお願いします。

(写真は、1月の白鳥の会での1コマ)



【2月の行事予定】

(1月25日現在)

日	曜	行事名	日	曜	行事名
1	水	民生児童委員方部会 9:30 沢田太極拳 13:30 安心安全部会 19:00	13	月	ヨガ愛好会
2	木	石陽吟詠会 19:00	14	火	書道教室 B13:30 華の会 19:00 教育文化部会 19:00
3	金	フグダンス愛好会 14:00	15	水	沢田太極拳
6	月	ヨガ愛好会 19:15	16	木	石陽吟詠会
7	火	フグダンス愛好会 10:00 まちづくり部会 19:00	17	金	書道教室 A13:30
8	水	沢田太極拳	20	月	ヨガ愛好会
9	木	石陽吟詠会 健康福祉部会 19:00	21	火	書道教室 B15:00
10	金	書道教室 A13:30 フグダンス愛好会 14:00	22	水	あぶくま句会 13:00 沢田太極拳
12	日	沢井地区圃場整備協議会総会 13:30	23	木	石陽吟詠会
			27	月	ヨガ愛好会
			28	火	フグダンス愛好会 10:00

この間のお話が、大へん面白かったので、私は、友達をつれだつてあのお話の続きを聞くためにいつものお爺さんの家をたずねました。

お爺さんは、ニコニコしながらさも待っていた、といわないばかりの顔をして

「大へんおそかったじゃないか。」と言いながら火鉢のそばにむかえてくれた。

「お爺さん、今夜もお話をききに来ました。」と三郎君が言うと

「おお、よしよしこの前のことを少しくわしく話してあげよう。」

と、言つてのみさしの煙草をいっぷく、煙を輪にふきながら

「あの館においでになつた領主が、太閤秀吉に追われてからは、この村は蒲生氏郷や上杉景勝（それあの川中島で武田信玄にきりかかったという、よく五月の幟などにかいてある上杉謙信の子供さ）の領分だったが、関原の戦後、徳川家康が天下を取つてからは、白河城主丹羽氏、柳原氏、本多氏松平氏などの領地だった。

その後は、越後の高田城主榊原氏が領するようになって、浅川の陣屋に居てこの辺りを支配したものだ。今の浅川の小学校のある所がその陣屋の跡だ。

それから幕府直轄の地になつて、天領といつてな、將軍様が直接にお治めになるというのだから、近所近郷に行つては随分いばれたもんだよ。それでよその村では大へん恐れていたものだ。

わしらが若い時分までは、お盆になど遊びに行つては、何か種を見つけて喧嘩などをしかけては大いにあばれたものだよ。今でもそれをいい気にしてさ、その風が幾分残っているようだ。

將軍様がお支配なさるといつても、ご自分でお出でになるのではない。代官というものを置いて治めさせたのだ。代官所としては、別に置かないで釜子に陣屋を置いて支配させたり、今の東白川の常豊村の塙に代官所を置いて、その支配所を浅川に置いたりして、この村を支配させたものだ。

塙の代官様には随分立派な人もありましたよ、安井息軒、寺西寅次郎など言う人ね。

その後は、あの戊辰のさわぎ、それから明治となつたのだ。」

お爺さんは、お婆さんが持つて来た洪茶を、グット一杯のんで又話をつづけるのでした。

「明治天皇様の御代になつてからは、まるで世の中が生まれ代わつたようなものさ。

幕府の領地は勿論、諸国の大名の領地も全部版籍奉還といつてな、天子様にお返しすることになつて、白河に民生局という役所が出来た。

次の年の2年には白河県、4年にはそれが廃されて磐前県、9年には福島県という具合に随分変わったものだ。

その頃は、村々には、庄屋というものがあつてな、総ての世話はその庄屋様がしてくれたのだ。庄屋といつたものは、今の村長さんのようなものだが、文字も庄屋様で教えたんだから校長先生かな。つまり村長さんと、校長先生をお一人で務められたのだから威張つたものさ。

わしの若い頃の庄屋さんは、上沢井村では深谷敬助、下沢井村では深谷長右エ門、赤羽村は江尻國一郎、新屋敷村は郷美之吉というような人達だった。

その頃は、戸長とか、用掛けとかいう役名に代わり県下には、区会所という役所が出来て、この辺

りは五大区小七区と言ひ、その後二十一区と改称し、河野廣中という人が区長でいられた。

この河野さんが、石川の区長さんをしておられたころは、まだ帝国議会が開設されない頃で、大いに自由民権などをさわいだものさ。わしらもこれでその一人だ。河野さんは、お前達も知っている通り、後では農商務大臣も務められ、第1回の選挙以来ここから代議士として選出されて議長も務められたことがある。その頃は若くてなかなか元気なものだった。

12年になつて石川に初めて石川郡役所が出来た。

各村には、戸長役場というものがあつて、治めることになつていたので。

この前にもお話ししたように、22年4月に初めて町村制が実施されて沢井、赤羽、新屋敷の三箇村は合していよいよ沢田村ということになつたのだ。

わしも文久3年の生まれで今年83になつたが、若い時からのことを考えてみると、随分色々世の中が変わつたものだ。

わしらの子供の時分には、男でも髪を結つていたものだ。腰に脇差しをさしてなあ、まるで夢のようだ。

隣のおみき婆さんは戊辰生まれだから慶長4年、これが改元で明治元年の生まれになつて66だ。明治になつてからさえこうもなるのだもの変つているのもあたりまえさ。」

お爺さんは、さも感慨に堪えないといったような風で、一寸お話をきられた。